

○これまで管内の流域では、平成13年の台風21号などにより甚大な被害が発生しており、さらに今後の気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、国・県・市町村・企業など流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させるためのハード対策やソフト対策を盛り込んだ「流域治水プロジェクト」に基づき、**流域治水を推進**していく。

○**沖田川水系など9水系**において、流域治水を推進していくことで、**災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる災害に強い地域づくりの実現**に取り組んでいく。

主要な出水被害

平成13年10月	台風第21号
平成16年10月	台風第23号
平成17年9月	台風第14号
平成19年7月	台風第4号
平成24年10月	台風第21号
平成26年6月	梅雨前線豪雨
平成28年9月	台風第16号
令和4年9月	台風第14号
令和6年10月	10月豪雨



対象水系

- 1) 浦尻川水系
- 2) 沖田川水系
- 3) 浦上川水系
- 4) 古江川水系
- 5) 市振川水系
- 6) 中港川水系
- 7) 阿蘇川水系
- 8) 熊野江川水系
- 9) 須美江川水系

位置図



流域の関係者



- ▶ **延岡市**（危機管理企画課、土木課、都市計画課、建築指導課、下水道課、林務課、総合農政課）
- ▶ **森林研究・整備機構 森林整備センター 宮崎水源林整備事務所**
- ▶ **宮崎県**（延岡土木事務所、東臼杵農林振興局、河川課、都市計画課、砂防課、危機管理課、建築住宅課、自然環境課、森林経営課、農村計画課、農村整備課）

流域治水プロジェクトの内容

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 洪水氾濫対策
- 土砂災害対策
- 流水の貯留機能の拡大
- 流域の雨水貯留機能の向上
- 内水氾濫対策
- 高潮、地震・津波対策

2. 被害対象を減少させるための対策

- まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- リスク情報の提供・充実
- 防災・避難体制の強化
- 防災学習・啓発の推進
- 早期復旧・復興への備え